

「公共ライドシェア実証推進・地域交通人材育成事業 業務委託」企画提案にかかる質問及び回答

NO.	項目	問い合わせ内容	回答
1	仕様書 3業務内容(1)公共ライドシェア実証推進 (ワークショップの運営支援)において	指定のある県内3市町の公共交通に関する調査データ等の共有はいただけるか	・実施市町との調整の上、本事業の実施に必要な範囲で共有する想定です。
2	仕様書 3業務内容(2)地域交通人材育成(研修会の実施)において	受講対象者となる県内市町村職員及び交通事業者職員などへの周知/案内は愛知県主体で実施いただけるか。	・お見込みのとおりです。
3	企画提案書作成要領について	企画提案書の作成枚数に指定はありますか。また、指定がある場合、枚数カウントのルール(A3は2枚カウント等)はありますか。	・作成枚数に指定はございませんが、枚数によってプレゼンテーションの時間を増やす等の措置はいたしかねますのでご了承ください。
4	企画提案書作成要領について	企画提案書は様式自由とのことですが、A4・A3等の書式サイズや縦書き・横書きの指定はありますか。	・指定はありません。
5	各実施地域における現状の課題認識及び到達目標について 該当箇所：仕様書2ページ「3業務内容(1)イ 実施地域」	実施地域ごとに、地域の状況や公共交通を取り巻く課題、検討の進捗状況はそれぞれ異なるものと認識しております。つきましては、現時点で県及び各実施市町が認識している各地域の主な課題や検討状況、ならびに本事業終了時点で目指す到達イメージ(例：地域としての方向性整理、実証計画の策定、関係者間の合意形成等)があれば、ご教示ください。	・いずれの実施地域においても、現時点では、公共ライドシェア等の導入に向けた地域主体の検討は行われていません。 ・対象地域のうち2地域については、地域の実情に合った交通モードの導入に向け、本事業を通じて地域住民主体による議論を促進し、市町村職員等による継続的かつ効果的な支援により取組が進展していくことを目標としています。また、残る1地域については、市町村職員等が地域住民と建設的な議論を進めるために必要な知識やノウハウを習得することを目標としております。
6	仕様書 「3業務内容(1)エスケジュール」及び4ページ「3業務内容(2)ウ スケジュール」	研修会及びワークショップの実施時期については、受託者にて県及び実施市町と協議の上設定するものと認識しております。つきましては、現時点で県において想定している開催時期やスケジュール案等があれば、ご教示ください。	・研修会及びワークショップの実施時期につきましては、本県及び実施市町との協議により設定する考えであるため、現時点で想定しているスケジュールはありません。 ・なお、昨年度実施した同事業(同じく3市町)の実施スケジュールは、10月から年明け1月までの間に、ワークショップを各市町4回開催しました。
7	仕様書 「3業務内容(1)」及び4ページ「3業務内容(2)」	受託後の企画調整を前提として、以下のような開催形式は可能でしょうか。 ・日程調整の結果、同日に複数地域のワークショップを開催すること・県内自治体間の情報共有や相互学習を目的として、複数自治体合同で意見交換会やワークショップを実施すること現時点で県として想定している運用方針があればご教示ください。	・同日に複数地域でワークショップを開催することの可否につきましては、開催に支障が出ないよう、本県及び実施市町との協議の上で決定することが適当であると考えております。 ・各自治体により、地域の状況や公共交通を取り巻く課題、検討の進捗状況が異なるため、自治体ごとに実施していただくことを想定しております。

NO.	項目	問い合わせ内容	回答
8	仕様書 「3 業務内容 (2) イ 地域交通人材育成」	研修会の参加対象者として県内市町村職員及び交通事業者職員と記載されていますが、現時点で県が想定している主な参加者像があればご教示ください。例えば、若手職員、管理職、公共交通の担当経験者、初任者、交通事業者の経営層または現場担当者など、想定される参加者像があればご教示ください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加する市町村職員は、地域における交通やまちづくりに関する業務に従事する実務担当者をメインターゲットとして想定しております。</li> <li>・また、交通事業者職員につきましては、バス、タクシー、鉄道など、幅広い事業者からの参加を想定しています。</li> </ul>
9	仕様書 「3 業務内容 (1) 公 共ライドシェア実証推 進」	ワークショップに参加する地域住民について、実施市町において既に継続的なコミュニケーションや課題共有が行われている対象者が中心となるのか、あるいは新たに参加者を募ることを想定されているのか、ご教示ください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自治体により異なりますが、基本的には新たに参加者を募ることを想定しています。</li> <li>・なお、ワークショップの参加者募集、決定、案内等は本委託業務の範囲外です。</li> </ul>
10	仕様書 「3 業務内容 (1) ⑤ コーディネーターの選 定・調整」	<p>地域交通や合意形成に詳しい専門人材（コーディネーター）を選定し、ワークショップの企画・運営に関する調整を行うこととされていますが、貴県が想定しているコーディネーターの役割や関与の程度についてご教示ください。例えば、以下のような点について、現時点で想定があればご教示ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域ごとに異なるコーディネーターを選定する想定か</li> <li>・同一のコーディネーターが複数地域を担当する想定か</li> <li>・ワークショップ当日の進行役を主に担う想定か</li> <li>・事前の企画検討段階から継続的に関与する想定か</li> <li>・受託者との役割分担</li> <li>・県として想定する人物像や必要な専門性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターにつきましては、本事業の受託者決定後に本県との協議により、人数・担当地域を決定する想定です。</li> <li>・ワークショップ当日の進行につきましては、基本的に受託者に行っていただく想定です。</li> <li>・コーディネーターには、事前の企画段階から継続的に関与していただく想定です。</li> <li>・受託者には「ワークショップの企画・準備・実施」、「コーディネーターとの調整」、「成果物の作成」等を行っていただくことを想定しております。</li> <li>・コーディネーターとして、公共ライドシェアに関する知識やノウハウを十分に備えるとともに、ワークショップのファシリテートや企画・運営・取りまとめ等を適切に行っていただける方を想定しております。</li> </ul>
11	仕様書 「2 目的」及び 3ペー ジ「3 業務内容 (1) ⑧ 成果の取りまと め」	本事業終了後、各地域における実証・実装や、県としての継続支援を予定している場合は、現時点で想定している方向性や、具体化している地域・内容等があればご教示ください	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県としての継続支援の予定はありません。</li> </ul>